

A consideration about the sport video materials for the improvement in sport appreciation capability

1K08B220-1 山口 慎平

指導教員 主査 吉永 武史先生 副査 宮内 孝知先生

【序章】

近年スポーツを「観る」機会が増加し、スポーツ観る機会が増大している。観る機会が増大した結果、スポーツはスポーツをする人の増加のみにとどまらず経済効果や国際政治にまで影響を与えるモノとなっている。

そこで、スポーツ鑑賞能力を向上させる方法を考察し、観る能力を高める機会を増大させることで、スポーツ参加率の増加・視聴率の上昇・観客動員数の増加につながりスポーツ界が発展に繋がる可能性があることから、スポーツと共に発展を遂げてきたメディアの中の映像の価値を検討し、教育現場やコーチング現場に活かし観る能力を高めていく手段について考察を行った。

しかし、現在では「行う」教育が重視されている。そこで、「観る」教育についての価値、そして「観る」能力を高めるために近年教育現場で実践されている映像教材の事例や映像のもつ特性から、スポーツ現場や学校体育の現場でスポーツの観る能力を高める「方法」を明らかにする。明らかにしたことをもとにスポーツ鑑賞能力を向上させるためのスポーツ映像教育の価値について考察することが本研究の目的である。

【第1章】

スポーツは、メディアと共に発展してきて、特にテレビの台頭により、より「観るスポーツ」が発展してきた。その観るスポーツは映像が媒体となるが、スポーツ中継による映像のメリットとして、①「空間の自由化」、②「金銭的なメリット」、③「テレビでしか体感することが出来ないプラスαのメリット」があげられる。

その中でも、スポーツ中継をテレビで観ることのメリットは、③の「テレビでしか体感することが出来ないプラスαのメリット」である。このプラスαとは、(1)テレビは特等席である点、(2)解説付きである点、(3)リプレイやスローモーションでプレーを再生することができる点があげられる。

【第2章】

映像教材の価値について使用事例や映像をはじめとするメディアの特性から考察した。映像教材の価値を大きくまとめると3つのことがいえる。(1)学習者が理解し易く学習を効果的に進めることができる点、(2)学習者の好奇心を刺激し、自

ら学ぼうとする動機となる点、(3)授業に広がりをもたせる点である。

映像教材は授業に絶大な効果をもたらす反面、使用方法や使用環境を間違えると逆の効果をもたらす。そのため、映像教材を使用する単元や状況、映像教材の特性を理解した上で用いることが重要である。

【第3章】

スポーツ鑑賞能力を高める意義として、(1)スポーツには人間を成長させる特性がある点、(2)スポーツには影響力がある点、(3)スポーツの質を高める期間にある点の3点を挙げた。この「スポーツを観る能力」の高めることで、より一層「観るスポーツ」が発展し、「観るスポーツ」から「するスポーツ」や「支えるスポーツ」などスポーツ界全体が活性化される可能性が観るスポーツにはあると言える。

次に映像を用いて体育の授業を展開することは、子どもに運動を理解させ易く知識を得る機会となり、戦術面でもチームスポーツでの共通理解が生まれ、運動を考える思考力や瞬時に決断する判断力、チームとして行動する協調性にプラスの影響を与えるといえる。また、「体育理論」の時間で知識・思考力・判断力を育む映像教材を用いることで、子どもの興味や動機づけを行うことや、知識や思考力・判断力を補うこと、さらに楽しく体育の目的を達成し易くなるといえる。

スポーツ鑑賞能力を高めることは意義があり、その能力を高めるために映像教材が有効である。また、映像教材を体育の「体育理論」で活用することで、より観るスポーツを活性化させスポーツ界全体を発展させる可能性がある。現段階では、学校体育における「体育理論」の映像教材についての研究や事例はあまりないが、将来的に映像を用いるという教授法が確立されることで、より効果的な体育の授業展開できるといえる。

【結章】

スポーツ鑑賞能力を映像教材で高めることで、効果的な授業を展開することが期待され、観るスポーツに関わるだけでなく、行うスポーツや支えるスポーツなど多様なスポーツと生涯にわたり関わるができる可能性があるといえことがわかった。